

製品名: FMO3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00496**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 60 kDa; Observed MW: 60 kDa

抗原情報

遺伝子名	FMO3
別名	FMO3; Dimethylaniline monooxygenase [N-oxide-forming] 3; Dimethylaniline oxidase 3; FMO II; FMO form 2; Hepatic flavin-containing monooxygenase 3; FMO 3; Trimethylamine monooxygenase
遺伝子 ID	2328
SwissProt ID	P31513
免疫原	抗血清はヒト FMO3 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

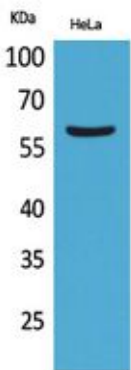
背景

薬物や農薬などの様々な生体異物の酸化代謝に関与する。第一級脂肪族アルキルアミン、第二級アミン、第三級アミンを N-酸化化する。

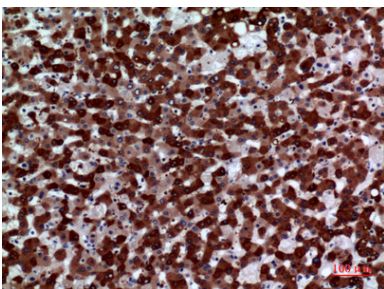
研究分野

シグナル伝達

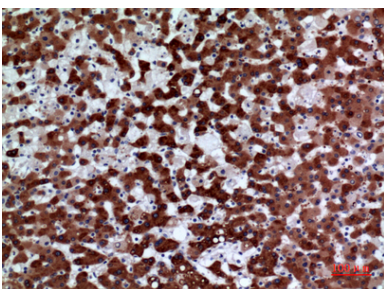
画像データ



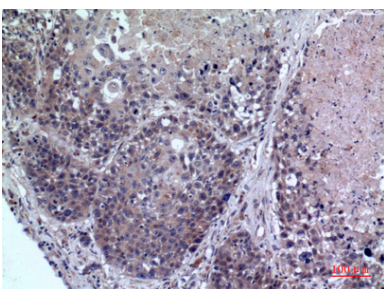
FMO3 抗体を使用した HeLa 溶解物中の FMO3 のウェスタン ブロット分析。



FMO3 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



FMO3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



FMO3 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。